

校長室だより
NO. 3
平成30年4月12日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

部活動の取り組みを改善しました

これまでの本校の部活動については、昨年度の部活動に関するアンケート調査や、学期末の教育診断調査、また、子どもたちの意識調査等から、その取り組みに対し、多くの賛同をいただいています。しかし、課題はないわけではなく、また、小学生の子どもの体力的な負担や教職員の勤務上・指導上の負担等の面で、改善する余地を感じていました。そのため、平成30年度の部活動の取り組みについて、昨年度から改善をする方向で検討を進め、次のように進めることとしました。是非ともご理解とご協力をいただきたいと思います。



部活動での歓喜

1 部活動終了・下校時刻について

- (1) 部活動終了時刻は、遅くとも午後5時30分として、下校時刻は、その15分後以内の時刻とします。
- (2) 長期休業中（夏・冬・春休み）も上記に準じます。

2 部活動の実施日について

- (1) 平日の実施日は週3日以内とし、休養日は原則として月・木曜日にとることとします
- (2) 週休日（土・日曜日）は原則として土曜日を部活動実施日として、1日以上は休養日とします。
- (3) 3連休以上の学校休業日での実施については、原則として月曜日から金曜日までで3日以内、土・日曜日で1日以内とします。週3日は休養日となるようにします。
- (4) 長期休業中の週休日は原則として実施しないことにします。また、長期休業中の平日は休養日を1日以上はとるようにします。長期休業中の週休日に実施する場合は、その分の休養日を平日にとるようにします。
- (5) 平日の実施時間は原則として2時間以内とします。
- (6) 週休日や長期休業中の1日の実施時間は原則として3時間程度以内とします。ただし長時間になる場合は、子どもの体調等を十分に考慮して、実施内容を決定します。

3 大会・コンクール1か月程度前の部活動の実施日について

- (1) 平日の部活動実施日は週4日以内として、休養日は原則として月曜日か木曜日とします。
- (2) 週休日は原則として土曜日を実施日として、1日以上は休養日とします。
- (3) 該当する大会・コンクールは市小学校球技大会・水泳大会・陸上大会、NHK・CBCコンクールとします。
- (4) 長期休業中も上記（1）～（3）に準じます。また、休養日に大会・コンクールが実施される場合は、その分の休養日を翌週等にとるようにします。

4 学校として出場を認める大会・コンクール

- (1) 市教委、県教委、文科省が主催または後援をする大会・コンクールは、必要に応じて参加を認めることとします。
- (2) 各種協会が主催する等の大会については、必要に応じて1～2つの参加を認めます。ただし、大会責任者、責任の所在等が明確でないものは認めないことにします。
- (3) 音楽部はNHK、CBCのコンクールについて参加を認めます。それ以外に、必要に応じて1つの参加を認めます。ただし、コンクールの責任者、責任の所在の明確でないものは認めないことにします。

5 その他

- (1) 陸上部等の臨時的な部活動も、上記1～4に準じます。
- (2) 上記以外の内容について問題や特例事項が生じれば検討し、関係者に連絡します。

部活動は、学級・学年を離れた、同学年・異学年の子どもが混ざった集団の中で、子どもたちの自発的・自主的な活動を基盤に、共通の目標に向かって互いに認め合い、励まし合い、協力し合いながら取り組むことに大きな意義があります。その中で、主に運動部は成長期の子どもにとって体力向上を図る上で効果的な取り組みと考えていますし、音楽部・園芸部においても感性を育てる上で意味を感じています。

具体的には、大会やコンクールに向かって、自分たちの目標を友達と共有し、努力を共にする活動にあります。苦しくても歯を食いしばって力を合わせることもできますし、チームのために互いに助け合うこともできます。その中では、友達のよさにも気付くことができ、自らを見つめ直し、自らを律し、自己の存在意義に気付いたりするなどの人間的な成長も期待できます。また、4・5・6学年の異学年で一体となって取



部活動での渾身の力

り進む中では、先輩が後輩に技術等を教えたりすることもできます。実際、大会が終わった6年生が秋からも部活動の練習に参加し、自分の体験を通じた指導をする姿が見られました。そういう意味では、国語や算数等の教科の授業とは異なる子ども同士のふれあいの中から、さらなる子ども理解や人間関係の深まりが期待できます。その他、子どもたちの活動を通して、保護者の皆様に学校への関心を持っていただく要素にもなっています。そのような中で、愛校心・郷土愛が育まれていくことができれば幸いと考えています。

しかし、部活動はあくまで自主的・自発的な活動です。集団で取り組む上では、それぞれの理解と協力が必要ですが、個人的・家庭的な都合等でご心配な点がありましたら、是非とも顧問に相談していただきたいと思えます。

私自身も、学生時代の部活動や、教員になってからのクラブチームでの活動で、多くを学んだ1人ですので、そのよさは感じ得ています。子どもたちには、その第一歩となる「小学生の子どもにとっての部活動」という面で、意味のある活動を指導していきたいと考えます。そして、子どもたちにとってよりよい成長につながる取り組みを推進していきたいと考えています。